

平成29年度  
事業実施報告書

新潟市南区社会福祉協議会

# 新潟市南区社会福祉協議会事業報告書

## 【概 要】

少子高齢化や核家族化の進行、人口の減少、地域のつながりの希薄化など、地域社会を取り巻く環境の変化や地域での孤立、複合的な課題を抱える世帯や個人が増加している現状です。

このような中、社会福祉協議会としても、南区地域福祉アクションプラン（地域福祉計画・地域福祉活動計画）の検証を踏まえ、個別と地域の支援を一体的に進め、地域の受容力を高め、地域で誰もが安心して暮らすことのできる支えあいのまちづくりを推進してきました。

今年度、地域包括ケアシステムの構築、生活支援・介護予防サービスの構築に向け、南区支え合いのしくみづくり会議とともに事業の周知や啓発、社会資源の把握や発掘を行ってきました。

この他に、多職種との協働・連携やボランティア活動支援、災害ボランティアセンター設置訓練など、積極的に地域福祉の推進に取り組んできました。

以下、事業の実施状況について次のとおり報告します。

## 【事業実施状況】

### 1. 地域福祉推進活動事業

#### (1) 地区社協活動支援

各地区社協で行っている地域の課題に対応した事業に、事業費助成など様々な支援を行いました。（12 地区社会福祉協議会）

#### ○地区社会福祉協議会長・地域生活センター職員合同会議

期 日	場 所	協議内容
平成 29 年 7 月 27 日	南区社会福祉協議会 大会議室	<ul style="list-style-type: none"><li>・社協会費、共同募金及び歳末たすけあい募金について</li><li>・平成 29 年度地区社会福祉協議会交付金について</li><li>・平成 29 年度地区社会福祉協議会活動推進事業について</li><li>・支えあいのしくみづくり進捗状況について</li><li>・南区社会福祉協議会業務依頼について</li><li>・第 11 回南区社会福祉大会被表彰者等の推薦について</li></ul>

#### ○コミュニティ協議会との連携・協働

地区社協の福祉事業がコミ協と協働して実施されるなど、地域福祉の事業推進についてコミ協との連携を深めながら、より一層の地域福祉の向上、育成に努めました。

#### (2) 地域ふれあい助成事業

地域の自治会単位での高齢者等見守り活動に対し、事業費助成を行いました。

#### (3) 南区地域福祉アクションプラン推進委員会

南区地域福祉アクションプラン第 2 期目（平成 27 年度～32 年度までの 6 年間）の計画を推進するため、「児童・子育て支援」「障がい福祉」「高齢者福祉・介護者支援」及び「地域づくり」の 4 分野別及び地区ごとの地域福祉活動計画の評価並びに分科会を開催し、目標達成のための「現状と課題」「取り組みの方向性・内容」について推進委員で検討しました。

回	期日・会場	主な内容
1	平成 29 年 8 月 1 日 白根健康福祉センター 多目的ホール	<ul style="list-style-type: none"><li>・平成 28 年度南区地域福祉アクションプラン評価について</li><li>・「にいがた安心ささえ愛活動支援事業補助金」審査結果について</li></ul>
2	平成 30 年 3 月 22 日 白根健康福祉センター 多目的ホール	<ul style="list-style-type: none"><li>・にいがた安心ささえ愛活動支援事業補助金活動報告</li><li>・平成 30 年度南区アクションプラン分野別計画の取り組みについて</li><li>・地区別計画の取り組み状況について（各地区推進委員から報告）</li><li>・分科会の見直しについて（H30 年度より）</li></ul>

#### (4) 地域包括ケアシステム事業

平成 28 年度から引き続き、南区第 1 層支え合いのしくみづくり会議（以下「協議体」という）の事務局並びに支え合いのしくみづくり推進員（以下「SC」という）を受託しました。

南区における地域の一体的な生活支援・介護予防サービス提供の体制整備を推進していくため、区内 3 圏域における第 2 層支え合いのしくみづくり推進員並びに事務局が配置になりました。

第 2 層 SC と協働し、コミ協や自治会、地域の茶の間・サロン、地域包括支援センターの協力により関係団体等で支え合いのしくみづくりについて説明を行いました。

地域での広報啓発活動として、8 月に南区ささえあいプロジェクトを立上げ、支え合いのしくみづくりについて地域住民等の参加による寸劇で取り組んでいます。10 月に開催の南区健康福祉フェアのアトラクションでの出演を皮切りに、5 回上演しました。

第 2 層 SC と毎月定例会を開催し、地域の社会資源の把握に努め、南区地域の茶の間マップ作成や地域の茶の間開設の相談に応じ、立ち上げ支援を行いました。

また、第 1 層協議体構成員をはじめ、みなふくねっと、南区居宅連絡会など関係機関との研修会等通じて情報交換し、ネットワークの構築に努めました。

第 1 層協議体は、2 回の会議を開催し、南区として認知症対策と移送支援について検討することにしました。

新潟市地域包括ケア推進モデルハウスの運営について、適宜の訪問やスタッフミーティングに参加しました。モデルハウスから助け合いを広げるため、「地域で安心して暮らし続けるために」と題して、ワークショップを開催しました。

#### ○南区第 1 層支え合いのしくみづくり会議開催状況

回	開催日	主な内容
第 4 回	平成 29 年 11 月 10 日	1) 南区第 1 層支え合いのしくみづくり会議構成員の交代について 2) 新潟市南区における生活支援体制整備事業の報告について 3) 南区第 2 層支え合いのしくみづくり推進員の紹介並びに各圏域の活動の取組みについて 4) 地域包括ケア推進モデルハウス事業「南区の茶の間 天昌堂サロン」事業報告について 5) 南区社会資源（地域の茶の間・サロンマップ）について 6) 南区ささえあいプロジェクトの取組みについて 【事務連絡】 ○新潟市介護予防・日常生活支援総合事業「住民主体の訪問型生活支援」実施団体への助成について ○地域の茶の間への助成について

第 5 回	平成 30 年 3 月 19 日	1) 南区第 1 層支え合いのしくみづくり会議構成員の交代について 2) 平成 29 年度南区における生活支援体制整備事業の経過報告について 3) 南区第 2 層支え合いのしくみづくり会議の開催報告について 4) 地域包括ケア推進モデルハウス事業実施状況について 5) 新潟市シルバー人材センター事業について <b>【提案事項】</b> ○南区の認知症対策について ○南区における人工透析患者の移送対策について <b>【事務連絡】</b> ○新潟市介護予防・日常生活支援総合事業「住民主体の訪問型生活支援」実施状況について ○新潟市地域の茶の間支援事業実施状況について ○南区自治協議会提案事業 まちづくり活動サポート事業について
-------	------------------	--

### ○南区第 2 層支え合いのしくみづくり会議開催状況

#### 【白井・白根北圏域】

回	開催日	主な内容
第 1 回	平成 29 年 12 月 5 日	○支え合いのしくみづくり会議構成員の役割について ○支え合いのしくみづくりに向けた意見交換
第 2 回	平成 30 年 2 月 9 日	○地域の状況 ○今後の活動について意見交換

#### 【白南・白根第一圏域】

回	開催日	主な内容
第 1 回	平成 30 年 3 月 6 日	○圏域内 5 地区における支え合いのしくみづくりに向けた活動報告及び次年度活動計画

#### 【味方・月潟圏域】

回	開催日	主な内容
第 1 回	平成 30 年 3 月 16 日	○支え合いのしくみづくりの活動報告と次年度の取組みについて

## 2. 区社協見守り・生活支援事業

### (1) 地域のお茶の間・ふれあいいきいきサロン、子育てサロンの育成と支援

高齢者や子育て中の方々など地域のさまざまな人たちの孤立防止、地域の助け合いの意識醸成を目的に、自治会・町内会などの小地域が主体で仲間づくりや多世代交流事業を実施する地域の茶の間・ふれあいいきいきサロン活動の支援・助成を行いました。

また、南区内の地域の茶の間・ふれあいいきいきサロン、子育てサロンの開催状況について、地域の茶の間団体シートの提出により団体ファイルとして1冊にまとめ、各々の活動について情報共有し、地域の茶の間・ふれあいいきいきサロン間の交流等ができるように配布しました。

支え合いのしくみづくりについて説明を行いながら、月1回開催が月2回開催になるように啓発を行い、新たに地域の茶の間・ふれあいいきいきサロン活動をしたいとの相談には、圏域の支え合いのしくみづくり推進員とともに立上げ支援を行いました。

### ○地域の茶の間・ふれあい・いきいきサロン・子育てサロンの実績

地区名	サロン数						地区名	サロン数					
	高齢者				子育て			高齢者				子育て	
	市助成			助成無	区社協助成	その他		市助成			助成無	区社協助成	その他
	月 1 回	月 2 回	旧Bタイプ (多世代)	・ 季節開催等				・ 不定期開催	月 1 回	月 2 回	旧Bタイプ (多世代)		
新飯田	2			1	2		鷺 巻	1			1		
茨曾根	3			2			根 岸				4		
庄 瀬	2			1			大 通	3					
小 林	3	1		2			白 根	9		2	2	1	2
臼 井	2			1		1	味 方	6		1	1	2	
大 郷	1			2			月 潟	3		1	1		
市の助成数:月 1 回／35 か所,月 2 回／1 か所 旧Bタイプ／4 ヶ所 (40 か所)							合 計	58 (49)				5 (6)	

※ ( ) 内は前年度数

## ○交流会・研修会の開催

事業名	開催日・場所	内容・参加者
南区ボランティア・サロン交流会	平成 29 年 12 月 6 日 10 時～15 時 30 分 サルナート吉運堂 5 階万葉の間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の茶の間・ふれあいいきいきサロン助成金について</li> <li>・ボランティア・市民活動について</li> <li>・南区ささえあいプロジェクトによる寸劇（除雪・詐欺・ゴミ出し・認知症介護など）</li> <li>・グループワーク</li> <li>・ボランティアグループによる発表</li> </ul> 参加者：84 人
子育てサロン交流会	平成 30 年 2 月 9 日 10 時～正午 白根学習館 ルーム 3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアグループたんぽぽによる絵本の読み聞かせ、手遊び、意見・情報交換</li> </ul> 参加者：14 人（子供 4 人・大人 10 人）
地域の茶の間・いきいきサロン助成金説明会	平成 30 年 2 月 22 日 平成 30 年 2 月 23 日 10 時～12 時 白根学習館 ルーム 1・2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・助成金に係る書類について（報告書並びに申請書）</li> <li>・地域の茶の間・ふれあいいきいきサロン団体シートについて</li> <li>・ボランティア行事用・活動保険について</li> <li>・南区における支え合いのしくみづくりについて</li> <li>・南区役所健康福祉課より ○週 1 回タイプの地域の茶の間・ふれあいいきいきサロン助成について ○体しゅっさき体操 DVD について</li> <li>・南区役所地域課より区バスについて</li> <li>・地域の茶の間・ふれあいいきいきサロン活動で活用できる講座等について情報提供</li> </ul> 参加者：22 日／32 人、23 日／23 人
助成金に係る書類の書き方等相談会	平成 30 年 3 月 20 日 ～ 平成 30 年 3 月 30 日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 29 年度事業実績報告書、収支決算書、平成 30 年度事業申請書、ボランティア行事用保険の加入についての個別相談会</li> </ul>

## (2) おせち料理等宅配事業

12 地区社会福祉協議会の地域福祉事業と連携を図り、地域の要援護者への昼食会、配食サービス、友愛訪問活動（安心箱配布事業）及びおせち宅配事業を実施しました。

区社協名	実施団体（協力団体）	昼食会・配食サービス対象者数	安心箱配付・訪問回数	おせち配食世帯数
新飯田地区社協	地区社協、民生委員	—	13(新規、フォローアップ訪問を含む)	11
茨曾根地区社協	地区社協、民生委員	83 3 回配食	67 (フォローアップ訪問含む)	14
庄瀬地区社協	地区社協、民生委員	45 (配食)	43 (友愛訪問)	37
小林地区社協	民生委員	27 (昼食会)	185(歳末慰問)	31
臼井地区社協	地区社協、民生委員	37 (配食)	108(新規、フォローアップ訪問を含む)	26
大郷地区社協	地区社協、民生委員	80 (配食) 2 回配食	222(新規・フォローアップ訪問含む)	22
鷺巻地区社協	地区社協、民生委員	106 (配食)	22 (フォローアップ訪問含む)	19
根岸地区社協	地区社協、民生委員	100 (昼食会・茶の間の交流含む)	142(フォローアップ訪問含む)	21
大通地区社協	地区社協、民生委員	56 (昼食会)	139 (新規、フォローアップ含む)	29
白根地区社協	地区社協、民生委員	392 (昼食会・配食)	—	200
味方地区社協	民生委員	—	5 (新規)	43
月潟地区社協	民生委員	—	110 (新規、フォローアップ訪問含む)	50
合 計		1,040 人 (1,297 人)		503 食 (475 食)

※ ( ) 内は前年度数



### (3) コミュニティソーシャルワーク推進事業 (CSW)

関係機関と情報共有、連携し個別に支援が必要な世帯が住み慣れた地域で生活できるよう継続的に関わっています。個別支援から地域での課題を見つけ、関係機関と連携し社会資源を取り入れながら、地域全体で課題解決に向けて取り組んでもらえるよう支援していきます。

また、年7回定例会を開催し、29年度からはSCも出席し、圏域毎の取組等の情報共有をしました。3月13日に新潟医療福祉大学教授を講師に、「安心して暮らせる地域づくり～ネットワーク活用の視点から～」をテーマに「南区地域福祉ネットワーク会議」を実施し多職種連携の必要性を学びました。

### ○南区保健医療福祉のつながりを深める会（共催）

南区社協として、多職種との連携・協働に参画し、住民が「住み慣れた南区で生活を継続するために何が必要なのか」について勉強会を実施しました。

開催日	場 所	内 容
平成 29 年 9 月 2 日	サルナート吉運堂	<ul style="list-style-type: none"><li>・基調講演 「地域共生社会の実現に向けて」 ～尊厳と自立支援を守る予防～ 講師:新潟県医師会副会長 吉沢浩志 氏</li><li>・特別講演 「新潟市健康と暮らしの調査で見えてきたもの」 ～南区の課題見える化と解決へのヒント～ 講師:新潟大学大学院医歯学総合研究科 国際保健学分野・准教授 菖蒲川 由郷 氏</li><li>・ワークショップ</li></ul>
平成 30 年 2 月 3 日	ラスペックホール	<ul style="list-style-type: none"><li>・講演 「看取りは命のバトンリレー～訪問看護師として伝えたいこと～」 講師:訪問看護ステーションみずき苑 田村妙子 氏 しろね訪問看護ステーション 古澤裕子 氏</li><li>・講演 「当事者に学び、共に築くまちづくり～認知症ケアと地域ケア～」 講師:社会福祉法人 東翔会 グループホームふぁみりえホーム長 大谷 るみ子 氏</li></ul>

#### （４）心配ごと相談事業

毎月第２・第４水曜日に心配ごと相談所を開設。心配ごとや困りごとの相談に対し、適切な助言指導を行い相談者の問題解決に努めました。

法律の専門相談は実績ありませんでした。

相談員は、本部主催の相談員研修会に参加し研鑽されました。

[心配ごと相談所相談件数]

	H29	H28	H27
開催日数（回）	24	24	24
相談件数（件）	6	2	6

[研修会]

日時・会場	内 容	参加人数（人）
平成 29 年 9 月 7 日 市総合福祉会館	・ 心配ごと相談所の機能と傾聴について 事例検討・グループワーク	9
平成 29 年 12 月 8 日 市総合福祉会館	・ 全国社会福祉協議会研修会報告 ・ 研修会「精神障がい者等の相談援助の仕方」	6
平成 30 年 3 月 9 日 市総合福祉会館	・ 人生いろいろよろず相談 Part7	8

#### （５）地域貢献事業

若者から高齢者まで身体を動かし、楽しく交流することを目的としてフロアーカーリングを実施しました。

<開催日> 12月2日（土）<会場> 白根カルチャーセンター

<参加者数> 44名

#### （６）社会福祉資金貸付制度の推進

高校卒業後の就職が内定している高校授業料滞納の方に、無事に高校を卒業され、自立した生活が送れるように、生活福祉資金を貸し付けました。また低迷する経済情勢を背景に収入の減少や失業等によって生活に困窮した世帯には関係機関と連携し、生活の立て直しを支援しました。

[新規貸付件数]

資金名		平成 29 年度 (件)	平成 28 年度 (件)	平成 27 年度 (件)
生活福祉資金	総合支援資金	0	0	0
	福祉資金	0	0	0
	教育支援資金	1	0	0
	不動産担保型生活資金	0	0	1
合 計		1	0	1

## ○日常生活自立支援事業の推進

日常生活に悩みや不安のある認知症の高齢者、知的障がいや精神障がいのある方が、地域で安全、安心した生活を送れるよう関係機関と連携し権利擁護のサービスの提供に努めました。

契約件数（件）	サービス利用者数（件）	契約終了件数（件）
4（1）	13（9）	1（2）

（ ）内は前年度数値

## （７）地域での見守り活動のための回覧板作成

回覧板を作成し、身近な小単位の見守り活動の促進を図りました。

作成数：5 地区（1,224 冊）

## ○緊急情報キット配付事業の実施

高齢者や障がいのある方などの緊急時に備え、連絡先やかかりつけ医、持病等を記載した用紙をボトルに入れて冷蔵庫で保管しておくための緊急情報キットを地区社協、民生委員、自治・町内会長様の協力のもと配布しました。

\* 28 年度末までの合計配布数 901 本（うち 131 有償）

地区名	単身高齢者	高齢者のみ	身体障がい者	知的障がい者	その他	有償	合計（本）
新飯田	3	3	0	0	0	0	6
茨曾根	3	4	0	0	0	0	7
庄 瀬	0	0	0	0	0	0	0
小 林	0	2	0	0	0	0	2
臼 井	1	0	0	0	0	0	1
大 郷	3	4	0	0	0	0	7
鷺 巻	0	0	0	0	0	0	0
根 岸	1	0	0	0	0	0	1
大 通	3	1	0	0	0	0	4
白 根	8	1	0	0	0	1	10
味 方	4	4	1	0	1	0	10
月 湯	1	0	0	0	0	0	1
施 設	0	0	0	0	0	0	0
合 計	27	19	1	0	1	1	49

### 3. ボランティアの育成と活動支援

#### (1) ボランティア・市民活動センター事業の推進

ボランティア活動に参加したい方、ボランティアを必要とする個人・団体・福祉施設等からのボランティアに関する多様な相談に応じ、必要な情報提供や調整、ボランティア登録、ボランティア保険の加入手続き等ボランティア・市民活動に関する支援を行いました。

また、地域のニーズに合ったボランティアの育成を行うため、きっかけ作り講座を開催しボランティアの人員拡大を行いました。

子どもだけでなく大人を対象にまたは大人が参加する福祉体験を行うことで、福祉教育の在り方を考えるきっかけを作りました。

#### ○ボランティアグループ数、人数

区分	高齢	障がい	児童	病院/ 施設	視覚障 がい	聴覚障 がい	その他	災害 関係	計
団体数	7	2	5	11	1	1	25	1	53
所属人数	131	33	70	129	15	15	483	40	916
個人人数	3	2	1	4	0	0	3	4	17

#### ○ボランティア保険加入

活動保険（人）	行事保険（件）
624	554

#### ○ボランティア相談・ニーズ相談件数

ボランティア したい（件）	ボランティア 欲しい（件）	情報提供 したい（件）	情報欲しい（件）	計（件）
19	35	21	23	98

#### ○災害関係

地域における災害ボランティアセンターのあり方を地域住民に理解してもらうため、味方地区公民館、味方地区ゲートボール場を会場に味方地域の方をはじめ、南区内の青年団体関係者からも参加していただき開催しました。

区 分	H29	H28	H27
設置訓練参加者数（人）	62	83	59

<実施状況>

開催日	場 所	参加団体	参加者数(人)
平成 29 年 11 月 1 日 事前研修	南区社協	デイ皐月園、デイ味方、介護支援センター、南区社協、白根 JC、日赤	8
平成 29 年 11 月 12 日 訓練	味方地区 公民館・ ゲートボ ール場	白根 JC、白根 JC OB, 味方地区社協、味方地区自治会、味方地区民協、白根商工会青年部、月潟商工会青年部、南区役所総務課、健康福祉課、日赤、白根ローターアクト、支え合いのしくみづくり推進員、介護職員、南区社協職員 にいがた災害ボランティアネットワーク	62

## (2) 災害ボランティアネットワーク会議

有事の際の災害ボランティアセンターの運営を円滑に行うために、白根 JC を中心に災害ボランティアセンター検討委員会を設置し年 6 回検討会を開催しました。

区 分	H29	H28	H27
検討委員会回数 (回)	6	8	9
検討委員数 (人)	13	11	11

<実施状況>

開催日	内容	参加委員数 (人)
4 月 19 日	第 1 回新規メンバー顔合せ 29 訓練内容検討	9
6 月 19 日	29 年度 訓練内容検討	9
8 月 21 日	29 年度 訓練内容検討	10
10 月 16 日	29 年度 訓練詳細打ち合わせ	12
12 月 18 日	29 年度 訓練反省会	7
3 月 26 日	30 年度 訓練方向性検討	6

## (3) ボランティア講座・交流会

ボランティア活動のきっかけとなるために、講座を開催。既存の団体の会員確保も目的とする。ボランティア同志の情報共有の場として交流会を開催しました。

区 分	H29	H28	H27
ボラ講座参加者数 (人)	238	118	106
新規ボラ団体設立 (団体)	0	0	1
交流会参加者数 (人)	128	99	139
施設研修会参加数 (人)	11	7	13

<実施状況>

事業名	参加者数（延べ人数）
ボランティアきっかけ作り講座 傾聴講座 2回	46
ボランティア・サロン 毎月第4火曜日 12回	119
こころの健康づくり講座 2回	73
ボランティア・サロンお茶の間交流会	84
中学生ボランティア交流会	44
ボランティア受け入れ施設担当者研修会 （西、西蒲3区合同開催）	11 （南区のみ）

#### （４）福祉教育

小学校、中学校が高齢者、障がい者の理解を深めるため体験学習や当事者との交流を加えた福祉教育を実施しました。

また、味方、月潟地区社協の皆様にご協力いただき、車いす体験、ブラインドサッカーなどの福祉教育を実施することができました。

大人のための福祉教育として災害の研修や視覚障がい者への理解を深める講座を実施しました。

区 分	H29	H28	H27
福祉教育実施学校（校）	9	8	8
大人の福祉教育実施（回）	2	2	1

<実施状況>

対 象	内 容	回	参加者数 （延べ）
茨曾根小学校 5 年生	車いす体験、高齢者疑似体験	2	32
茨曾根小学校 5 年生	認知症サポーター養成講座	1	26
新飯田小学校 4 年生	車いす体験、アイマスク体験、	1	32
新飯田小学校 4 年生	視覚障がい者との交流	1	19
大通小学校 3 年生	高齢者疑似体験	1	83
大通小学校 3 年生	アイマスク体験、ブラインドサッカー体験	6	166
大通小学校 3 年生	盲導犬ユーザーとの交流	1	83
小林小学校 6 年生	手話体験	1	30
小林小学校 4 年生	福祉について、視覚障がいについて	1	28
小林小学校 4 年生	ブラインドサッカー	1	30
月潟小学校 4 年生	車いす体験	1	27
味方小学校 4 年生	車いす体験、高齢者疑似体験、アイマスク体験	3	58
味方小学校 4 年生	盲導犬ユーザーとの交流	1	20
味方小学校 4 年生	災害に関する講座	1	27

対 象	内 容	回	参加者数 (延べ)
根岸小学校全校生徒	災害時非常食体験	1	163
白根北中学校 1 年生	視覚障がい者との交流、アイマスク体験	1	115
月潟中学校 3 年生	ブラインドサッカー	1	33
白根ローターアクト	視覚障がい者の理解を深める	1	35
地域教育コーディネーター・ボランティア	災害に関する研修	1	34

### ○南区ボランティア・市民活動センターだよりの発行

平成 29 年 10 月発行 800 部作成（ボランティア交流会にて配布の為 150 部増）

平成 30 年 3 月発行 650 部作成

ボランティア団体、個人、サロン、施設、学校、その他関係先に配布

## 4. 区社協広報・啓発活動事業

### （１）南区社会福祉大会並びに健康福祉フェアの開催

南区社会福祉大会並びに南区健康福祉フェアを開催し、福祉と保健が一同に会し、相互に連携を深め、民間福祉事業、ボランティア活動並びに健康づくり活動が向上、普及するために、地域の活動団体と区民の交流、社会参加の実現を図りました。

開催日/会場	内 容
平成 29 年 10 月 7 日(土) 白根学習館 約 720 名（約 720 名） （ ）内は前年度数値	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉バザー、介護事業所等のパネル・作品展示、試食や健康コーナー等の開催</li> <li>・記念講演「食卓の向こう側に見えるもの」 講師：西日本新聞編集企画委員 佐藤 弘 氏</li> <li>・第 11 回社会福祉大会 会長表彰式 月潟中学生による意見発表</li> </ul>

### （２）広報「区社協だより」及び「ボランティア・市民活動センターだより」の発行

広報誌名・No.	発行日	掲載内容
区社協だよりみなみ 第 35 号	平成 29 年 7 月 9 日	平成 29 年度事業計画・予算、平成 28 年度事業・決算報告、社協会費納入のお願い、南区社協各事業所紹介、ボランティア伝言板、心配ごと相談所のお知らせ、共同募金実績報告、南区健康福祉フェアの案内、地区社協コーナーほか

区社協だよりみなみ 第 36 号	平成 29 年 9 月 24 日	南区健康福祉フェア・南区社会福祉大会のお知らせ、共同募金運動について、賛助会員企業、地域の茶の間・子育てサロン MAP、南区登録ボランティア、フローカーリング大会のご案内、心の健康づくり講座、地区社協コーナー他
区社協だよりみなみ 第 37 号	平成 30 年 2 月 25 日	寄付御礼、南区健康福祉フェア・南区社会福祉大会の報告、H29 年度ボランティア個人・団体登録募集、ボランティアきっかけづくり講座の案内、平成 29 年度共同募金法人募金実績報告、心配ごと相談所の開設について、地区社協コーナーほか
区ボランティア・市民 活動センターだより No.3	平成 29 年 10 月末	ボランティアルームの日、ボランティア募集、ボランティア団体の活動紹介、福祉教育の様子、ボランティア・サロン交流会、元気力アップ・サポーター募集、ボランティアきっかけ作り講座、こころの健康づくり講座
区ボランティア・市民 活動センターだより No.4	平成 30 年 3 月末	災害ボランティアセンター設置訓練開催、ボランティアきっかけ作り講座、南区ボランティア・サロン・お茶の間交流会、福祉教育の様子、収集ボランティア、平成 30 年度南区ボランティア・市民活動センター予定

## 5. 区社協運営事業

### (1) 理事会の開催状況

区 分	開催日・場所	協議題
第 1 回理事会	平成 29 年 4 月 6 日 南区社会福祉協議会 大会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南区社協 正副会長の選任について</li> <li>・南区社協 監事の選任について</li> <li>・赤い羽根共同募金の配分に関する要望について</li> </ul>
第 2 回理事会	平成 29 年 5 月 24 日 南区社会福祉協議会 大会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 28 年度 南区社協 事業実施報告について</li> <li>・平成 28 年度 南区社協 収支決算について 監査報告</li> <li>・平成 29 年度 南区社協 度事業計画（案）について</li> <li>・平成 29 年度 南区社協 収支予算（案）について</li> </ul>



第3回理事会	平成29年9月21日 南区社会福祉協議会 大会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南区健康福祉フェア2017並びに第11回南区社会福祉大会について</li> <li>・第11回南区社会福祉大会被表彰者等の選考について</li> <li>・市社協会長表彰被表彰者の推薦について</li> </ul>
第4回理事会	平成30年3月13日 南区社会福祉協議会 大会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成30年度 南区社協 事業計画（案）について</li> <li>・平成30年度 南区社協 収支予算（案）について</li> <li>・南区社協 表彰要綱（案）について</li> </ul>

## （２）監事会の開催

区 分	開催日・場所	監査事項
監 事 会	平成29年5月11日 南区社会福祉協議会 1階相談室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度南区社会福祉協議会事業実施報告について</li> <li>・平成28年度南区社会福祉協議会収支決算について</li> </ul>

## （３）会員会費の納入状況（目標額：1世帯500円）

地区名	世帯数	納入世帯	納入率	納入金額（円）
新飯田	481	472	98.1	236,000
茨曾根	411	410	99.8	205,000
庄 瀬	650	641	98.6	320,500
小 林	1,194	1,000	83.8	500,000
臼 井	971	971	100.0	410,000
大 郷	465	419	90.1	209,410
鷺 巻	522	497	95.2	248,500
根 岸	985	985	100.0	492,500
大 通	2,225	2,048	92.0	1,024,000
白 根	3,697	2,765	74.8	1,445,720
味 方	1,275	905	71.0	452,110
月 潟	1,178	957	81.2	478,500
合 計	14,054 (13,936)	12,070 (12,174)	85.9 (87.4)	6,022,240 (6,114,650)

※（ ）内は前年度数値

#### (4) 法人等の賛助会員数と実績額の状況

個 人	106 人	86,500 円	(125 人 94,500 円)
法 人	25 社	150,000 円	( 21 社 125,000 円)

## 6. 市受託事業の推進

### (1) 生きがい対応型通所事業

高齢者の閉じこもり防止、介護予防や健康増進を図ることを目的として、健康体操やレクリエーション等を提供することで、生きがいづくりと社会参加を促し、社会的孤立感の解消と自立した生活を支援しました。

会 場	開設曜日	開設 日数	延べ利用者数	内 容
白根健康福祉センター 2 階	火～土曜日	242 日	1,531 人	・ゲーム、歌、折り紙、 ・レクリエーション、輪投げ ・健康づくり体操

### (2) 元気力アップ・サポーター事業

高齢者が介護施設などでのサポート活動を通じ、高齢者の社会参加を促進し、健康増進や介護予防及び地域の活性化を目的とした事業です。受入協力機関として指定された施設・事業所等でサポート活動を行った場合に、年度ごとに活動実績をポイントとして評価し、ポイント数に応じて、サポーターの申請により、交付金として還元するものです。当該制度が円滑に運営できるように、研修会の開催、受入施設へのコーディネートのほか、サポーター交流会を開催し、研修・交流を行ないました。

区 分	説明会		サポーター登録者数 (人)	登録施設数 (施設)
	開催数 (回)	参加者数 (人)		
H29 年度	12	9	7 (新規)	0
累 計	198	152	149	41

## 7. 共同募金事業の推進

[平成 29 年度赤い羽根共同募金並びに歳末たすけあい募金実績額]

区 分	平成 29 年度 目標額	平成 29 年度 実績額	達成率	平成 28 年度 実績額	対前年比較
共同募金	7,020,000 円	7,012,590 円	99.9%	7,027,042 円	△14,452 円
歳末募金	2,379,000 円	2,735,462 円	115.0%	2,745,810 円	△10,348 円
合 計	9,399,000 円	9,748,052 円	103.7%	9,772,852 円	△24,800 円

[赤い羽根共同募金の募金別内訳]

募金種別	募金額	割合
戸別募金	5,658,645 円	80.7%
法人募金	829,024 円	11.8%
学校募金	249,863 円	3.6%
街頭募金	12,120 円	0.2%
職域募金	124,686 円	1.8%
イベント募金	27,194 円	0.4%
その他募金	111,058 円	1.6%
合 計	7,012,590 円	100.0%

[歳末たすけあい募金の募金別内訳]

募金種別	募金額	割合
戸別募金	2,603,800 円	95.2%
職域募金	98,681 円	3.6%
その他募金	32,981 円	1.2%
合 計	2,735,462 円	100.0%